

平成27年度事業計画

療育センターAOI

＜エトワル・療育センターAOI・相談支援体制整備事業・もなみ（リアン）＞
センター共通施設方針 「安心して利用できる事業所であるように」

エトワル（児童発達支援・放課後等デイサービス）

- ・（楽しく過ごしていただく中、療育面からも支援していく）

現在15名の登録者で、事業内容としては、地域で暮らしている障害児の放課後及び長期休暇中の活動の場所として実施していき、利用者さんの安全に配慮しつつ充実した活動の場所となるように努めています。

（平日は、放課後から17：00 長期休暇などは、9：30～15：30）

今後の事業形態として、従来の就学している児童だけでなく、就学直前の児童についても受け入れていく予定です。（小学校入学前の春休みなど）

療育センターAOI（特定相談支援・障害児相談支援・一般相談支援）

- ・（利用者さんに寄り添い、安心して相談していただけるようにする）
- ・特定相談支援事業（計画相談支援・基本相談支援）
- ・障害児相談支援事業（障害児支援利用援助）
- ・一般相談支援事業（地域移行支援・地域定着支援）

これまでと同様に海南市と紀美野町から委託を受け、委託相談支援事業所としても実施していき、毎月1回海南市と紀美野町それぞれに定期相談日を設け地域の障害者（児）の相談を受けていき、随時相談依頼があり次第対応していきます。海南・海草障害者自立支援協議会の運営も他委託事業所と協働しながら行っていきます。

今年度も計画相談については登録者、法人内からの依頼のほか、他事業所・他圏域からの依頼も増えてくることが予想されるため、人員配置なども検討していきたい。

相談体制整備事業（アドバイザー）

和歌山市と海南・海草圏域を担当エリアとして、地域自立支援協議会の運営及び地域における困難事例について、委託相談支援事業所や各機関と連携を図り対応していきます。また、和歌山県自立支援協議会で各圏域の地域課題などの検討を行っていきます。

もなみ・リアン（生活介護事業・就労継続支援事業B型）

もなみ・リアンは、利用者、保護者の方が、もなみに「行きたい」と思って頂ける事業所になるよう、お一人お一人の思いにしっかり耳を傾け、利用者さんの体調、健康状態に配慮し、個別支援計画に沿って充実した活動を提供出来るように努めます。

現在もなみ生活介護事業は、定員15名に対し18名の方が契約して頂いており、今後利用者の増加に伴い、都度定員増の変更申請をしていこうと考えていますが、現在の建物の広さではこれ以上の利用者の受け入れは厳しくなりつつあります。また平成27年度卒業生には生活介護事業利用を希望される学生の方が多く、支援学校の先生からも“定員を増やして欲しい”との要望があります。何とかそのニーズに応えられないか対応を検討していきます。

リアンは、主に重症心身障害者の方に利用して頂ける事業所で、もなみ生活介護事業の従たる事業所

として平成26年度より定員6名で一体的に運営していますが、平成27年度は2年目となります。現在リアンを利用して下さっている方は9名の方が利用して下さっており、看護師2名、生活支援員1名の職員体制にて、楽しく安心して過ごして頂けるよう取り組みます。

就労継続支援B型事業は、平成27年度10月に紀の国わかやま国体及び紀の国わかやま大会での販売に向け新たな商品の開発をし、イベントなどでの販売を通して認知をして頂くなど、これを機会に売り上げアップ、また並行して雑貨事業（ブラシ・スポンジ）も徐々に受託量を増やし工賃アップに繋がっていきたいと考えています。

平成27年度はセンター各事業所は、センター共有施設方針に向け、職員一丸となって支援や活動を提供していきたいと考えています。